

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 193
事務事業名称		市立病院経営管理事務								
担当部署(R8年度機構)		部：	市立病院事務局	課：	経営企画課	区分	行政運営事業			
基本項目	総合計画	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち				細区分	行政運営区分		
		施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち				性質	内部事務・行政運営		
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	事業期間		事業開始： 不明 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)							
	根拠法令等		枚方市病院事業の設置等に関する条例							
	関係附属機関等		該当なし							
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —							
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		地域の中核となる公立病院として、地域の医療機関と連携を図りながら、経営の効率化を図り、病院経営の健全性を確保することにより、患者に対して良質な医療を継続的に提供できている状態を目指します。							
	対象者(受益者)		本院を利用する疾病や疾患を抱えた方(R5年度延べ患者数 [入院:91,613人][外来:183,708人])							
	現状・課題		病院経営の健全化が図られなければ、質の高い医療を継続的に受けることができなくなる。							
	事業の概要		質の高い医療を継続的に提供するために、経営状況を適切に分析し、予算書や決算書を作成することで、病院運営の透明性を確保し、持続可能な医療提供体制を維持しています。また、年報の編集・発行を行い、病院の取り組みや経営状況を発信しています。							
	年間の主な事務		・ 市立ひらかた病院の経営状況の分析等 ・ 当初予算書・決算書の編集・発行 ・ 病院年報の編集・発行							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)									
人員体制	(人)			R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績		
	正職員			5.25人	4.85人	—	—		
	再任用			0.00人	0.00人	—	—		
	任期付職員			0.00人	0.00人	—	—		
	会計年度任用職員			0.80人	0.97人	—	—		
	特別職非常勤			0.00人	0.00人	—	—		
	附属機関委員			0.00人	0.00人	—	—		
決算額	(千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	40,362	39,814	—	—		
			会計年度任用職員	4,227	3,718	—	—		
			特別職非常勤	0	0	—	—		
			附属機関委員	0	0	—	—		
		人件費計		44,589	43,532	—	—		
		物件費計		0	0	—	—	0	0.0%
	歳出計			44,589	43,532	—	—		
	歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の人員費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。
		府支出金		0	0	—	—	0	
		受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
		市債		0	0	—	—	0	
		その他		0	0	—	—	0	
		歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	
	一般財源(物件費充当分のみ)			0	0	—	—	0	

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 適切な病院経営につながる予算の調製及び決算報告	回	5 回	8 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロ ジ ック モ デ ル	ア ウ ト プ ツ ト ①	説明	病院経営の健全性を確保する。(経常収支比率の改善)					
		指標	経常収支比率					
				R6	R7	R8	R9	単位
			目標	99.2	99.5	100.2	100.8	%
			実績	92.15	92.66	—	—	%
		算出方法	経常収益／経常費用×100					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

ア ウ ト カ ム ①	説明	—						
		指標	—					
				R6	R7	R8	R9	単位
			目標	—	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	—
		算出方法	—					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	医業収益では、一部病棟の休棟や新型コロナウイルス感染症患者の減少などにより、入院、外来収益ともに減少となり、医業外収益においても、国・府からのコロナ関連補助金が終了したことにより大幅な減少となった。医業費用では、物価高騰の影響により諸経費が増加したほか、人事院勧告に伴う給与費改定により人件費が大幅に増加した。この結果、経常収支は8億9,086万1千円の経常赤字、総収支では、病院事業収益104億5,179万円に対し、病院事業費用113億4,251万3千円で、8億9,072万3千円の純損失となっており、経営改善の取り組みが不可欠な状況となっている。
R7 年度	医業収益は、入院収益における診療単価の増加及び休棟していた一部病棟を再開し稼働病床数が増加したことから、昨年度比較で増加となった。一方で医業費用も、人事院勧告に伴う給与費改定により人件費が増加したことなどから増加している。また、特別損失として、近畿厚生局による「施設基準等に係る適時調査」における診療報酬の自主返還に係る調査完了に伴う、診療報酬返還引当金を計上した。これらの結果、経常収支は8億7,647万2千円の経常赤字、総収支では、病院事業収益110億5,708万6千円に対し、病院事業費用122億5,546万4千円となり、11億9,837万8千円の純損失となっており、引き続き経営改善の取り組みが不可欠となっている。
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度 取組方針	引き続き、北河内医療圏唯一の公立総合病院として政策医療(救急・小児・新興感染症・周産期・災害)を担うとともに、急性期病院としての機能を維持する。また、令和7年度に見直しを行った「市立ひらかた病院 経営強化プラン(第3次中期経営計画)」に掲げる取り組みを着実に進め、新たな病院事業管理者をはじめとする新体制のもと医療機能を一層充実させることで経営の健全化を図りつつ、将来の医療需要を見据え、今後の病院運営の在り方を検討する。	R8年度 方向性	現状維持
--------------	---	-------------	------

参 考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 897	
事務事業名称			市立病院経営企画課運営事務								
担当部署(R8年度機構)			部：市立病院事務局		課：経営企画課		区分	行政運営事業			
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外					細区分	行政運営区分		
		施策目標	99.施策体系外					性質	内部事務・行政運営		
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
					—		—				
	事業期間		事業開始： 不明 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)								
	根拠法令等		決裁								
	関係附属機関等		該当なし								
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —								
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		市立ひらかた病院事務分掌規程に基づく所管事務をすべての職員が適正かつ効率的に執行するための専門的知識を習得できている状態を目指します。								
	対象者(受益者)		市立ひらかた病院事務分掌規程に基づく所管事務を行う職員・職場								
	現状・課題		予算決算管理事務等専門的な知識を要する業務に精通する職員を育成すること。								
	事業の概要		課の運営業務								
	年間の主な事務		基礎的な課の運営業務 ・議会及び議会資料の調整に関すること ・公金の出納や財産の管理に関することなど。								

2. 事務事業への投入コスト(インプット)										
人員体制			(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績			
	正職員			1.75人	1.40人	—	—			
	再任用			0.00人	0.00人	—	—			
	任期付職員			0.00人	0.00人	—	—			
	会計年度任用職員			0.00人	0.67人	—	—			
	特別職非常勤			0.00人	0.00人	—	—			
	附属機関委員			0.00人	0.00人	—	—			
決算額				(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	13,454	11,493	—	—			
			会計年度任用職員	0	2,523	—	—			
			特別職非常勤	0	0	—	—			
			附属機関委員	0	0	—	—			
		人件費計		13,454	14,016	—	—			
	物件費計		0	0	—	—	0	0.0%		
	歳出計			13,454	14,016	—	—			
	歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の人員費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。	
		府支出金		0	0	—	—	0		
		受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0		
		市債		0	0	—	—	0		
		その他		0	0	—	—	0		
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	—	—	0				
一般財源(物件費充当のみ)			0	0	—	—	0			

3. 具体的な活動(アクティビティ)					
年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① —					

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)							直接アウトカム(結果による変化・便益)								
ロ ジ ッ ク モ デ ル	ア ウ ト プ ット ①	説明	—					ア ウ ト カ ム ①	指 標	説明	—				
		指標	—							指標	—				
		目標	R6	R7	R8	R9	単位			目標	R6	R7	R8	R9	単位
		実績					—			実績					—
		算出 方法	—							算出 方法	—				
			—								—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	予算編成や決算調整、財産管理などのほか、契約・会計事務など多岐にわたる経営企画課運営事務について、適正かつ効率的な事務執行を行った。
R7 年度	予算編成や決算調整、財産管理などのほか、契約・会計事務など多岐にわたる経営企画課運営事務について、適正かつ効率的な事務執行を行った。
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度 取組方針	引き続き適正かつ効率的な事務執行に努める。	R8年度 方向性	現状維持
--------------	-----------------------	-------------	------

参 考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	現状維持	—	—